

甲状腺外科草子 124

独断のお気に入り映画4：喜劇①

杉野 圭三

様々な映画の中で、最も評価が分かれるのが**喜劇映画**である。世間には訳の分からないドタバタギャグが好きな人種も多いが、以下の3本の映画が嫌いな人は稀であろう。

グレートレース (1965、ブレイク・エドワーズ監督)



ニューヨークからパリまでの自動車レースの話。名優**ジャック・レモン**と二枚目**トニー・カーチス**がライバルとして共演。白で統一したグレート・レスリー（カーチス）と悪役フェイト教授（レモン）の黒装束は笑える。

フェイト教授と助手マックス（**ピーター・フォーク**）の悪巧みがことごとく失敗するギャグのパターンが最高で抱腹絶倒すること間違いなし。共演の美女**ナタリー・ウッド**もピンクで統一した衣装で映画に華を添えた。彼女の歌う劇中の挿入歌「**The Sweetheart Tree**」（残念ながら吹替）も良い。



劇中の「古典的パイ投げ合戦」で使われたのは本物の5,000個のパイ。撮影終了後、パイだらけになった俳優陣たちは監督に向けて思いっきりパイをぶつけたとのこと。

お熱いのがお好き (1959、ビリー・ワイルダー監督)



同じく**ジャック・レモン**と**トニー・カーチス**の共演による**ビリー・ワイルダー**監督の名作。マフィアに追われる2人の劇団員が女装して女性楽団に逃げ込む話。

マリリン・モンローも出演し、話題となっ

たが映画の中では影が薄い。

ジャック・レモンは配役により、その印象が大きく変わる名優である。彼が真面目な顔で演技すればするほど笑いがこみあげてくる。彼らの女装は必見！



最後の「**Nobody is perfect!**」は最高のオチであるが、ネタバレになるので、見ていない人はお楽しみに！

ビリー・ワイルダー監督はアカデミー作品賞、監督賞をそれぞれ2回受賞しているが、この作品もアカデミー賞の価値が十分ある喜劇映画である。

大逆転 (1983、ジョン・ランディス監督)



大金持ちの兄弟の賭け（賭け金1ドル）でエリート重役（**ダン・エイクロイド**）とホームレス（**エディー・マーフィー**）の立場を入れ替えられた2人の復習劇。



ダン・エイクロイドは「**ブルース・ブラザース**」や「**ゴースト・バスターズ**」でもおなじみの名優。**エディー・マーフィー**については解説不要であろう。この2人の共演で面白くないわけが無い。



よくできた喜劇映画は人生を楽しくさせてくれる最高のものである。

（一甲状腺外科医の徒然なる随想）

2024年12月26日